



三原中だより

平成28年度 第10号
発行 平成29年2月24日
八丈町立三原中学校

「中学生期（思春期）」

校長 大澤 道明

立春も過ぎ、朝のあいさつ運動時に吹き抜ける強い風にも、少しずつ春の気配を感じるようになりました。4月に出航した三原丸も、早いもので間もなく平成28年度の航海を終えることとなります。3年生は新たな一歩を踏み出す準備を整えています。1, 2年生も次の目標に向けて自らの課題を明確にするとともに、改善をしようと努力を続けています。しかし、まだまだ一人ではできないこともたくさんあります。特に中学生期は心身ともに変化が激しく、大人に一歩近づくために揺れ動く時期です。各ご家庭でも、お子さんと接する時に悩むことはありませんか。

『親から言われたくない一言・本当は待っている一言』

思春期は「子供の心と大人の心が同居する時期」だと考えています。「子供の心」では親に甘えたい、かまってほしい、愛されたい、認められたい、という思いがあり、「大人の心」の方には、干渉されたくない、自分の道を自分で選びたい、といった気持ちがあります。この時期特有の複雑さから、親のちょっとした一言に過剰反応したり、些細なことで傷付いたりすることもあります。ではお互いにほどよい距離で、良い関係を保つためにはどうすればよいのか考えてみましょう。



【比べない】「お母（父）さん、テストで80点取れたよ」と言ってきたわが子に対して、「そう。〇〇さんは何点だったの？」と、すぐに他の子の点数を知りたがる。「Aさんはいつも入選するのに、うちの子は・・・」とか、「B君は頑張ってレギュラーになれたじゃない。それなのにあなたは・・・」と、いちいち他人を引き合いに出して比べられると、誰でもイヤな気持ちがするものです。ましてや思春期の心は敏感。他人との比較で物事を測ることは、本人が伸びていこうとする芽を捻じ曲げてしまいかねません。また、兄弟がいる場合には、「お姉（兄）ちゃんはもっとできたのに」、「弟（妹）はお手伝いを進んでしてくれるのに」というように、他の兄弟と比較することも劣等感や不公平感を生む要因になります。

【押し付けない】「～（お母（父）さんの言うとおりに）しなさい」というような命令口調になるのも自尊心の芽を折りがねません。思春期になれば、子供は自分なりに意見や考えをもつようになってきます。指示する前に「あなたはどう思うの？」と問い掛けてみるようにしましょう。親には親の答えがあったとしても、あえて本人に考えさせ、自分で答えを出させることが大事です。親の考えを押し付けず、子供と向き合って黙って聞いていることも必要なこと。親が先に答えを出してしまうと、子供は自分の意見が言えなくなり「どうせ親が結論を出すから」「何を言っても親には通じないから」と自分の考えを封印することにもなってしまいます。だからこそ「それがどういうことにつながるか考えてみよう」、「どうしたらいいか一緒に考えよう」という対応が大切であり、そんな言葉を待っているのだと思います。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/miharachu/>

平成28年度 八丈町教育研究奨励校 研究発表会
 「小中一貫型教育校の教育カリキュラムの開発・研究」
 ～施設隣接の利点を生かして～

2月8日（水）、これまでの三原小学校との小中一貫教育に向けての様々な取組や研究を皆様にお伝えすることを目的とした、研究発表会が開催されました。

＜研究発表会の流れ＞

受付	公開授業	移動	研究発表会			謝辞
			あいさつ	研究発表	指導・講評 講演	
玄関	各教室		校舎2階ホール			



当日は、八丈町教育委員会教育長 佐藤 誠様をはじめ、多くのご来賓の方々や八丈町の小中学校の先生方、地域・保護者の皆様にご来校いただき、研究の成果や課題を皆様にお伝えすることができました。

以下は、平成30年度の小中一貫型教育校開設に向け、今年度の初めに本校美術科の平賀主任教諭によって作成された三原小・中の一貫教育のシンボルマークです。



＜シンボルマーク＞

作成のポイント

- ★ 小学生と中学生が手と手を取り合い、共に学び成長する姿を表現し、八丈島の「8」にイメージを重ねた。
- ★ カラーは八丈島の海と空の「蒼」を連想させるものとした。

お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、今年度初めての試みとなった三原小・中の合同運動会の際に、教職員全員が青いポロシャツを着用していましたが、そこにプリントされていたのがこのシンボルマークです。小中一貫教育を実現するには小中の教職員が同じ目標をもち、同じ気持ちで三原の子供たちの成長を支えることが大切です。このシンボルマークは小中一貫教育をイメージしやすく、教職員の心をつなぐためにとっても効果を発揮しました。

<公開授業の内容>

年・組	教科	授業者	内容（工夫）
中学1年 小学5年	国語（古典） 【交流授業】	塩生 俊二（中） 山田 晋作（小）	小学生と中学生がそれぞれの学習のねらいを達成できるようにゲーム的な要素を盛り込んだ課題解決学習を取り入れました。
中学2年	保体 （バドミントン）	氏家 正博	技能の向上のためにチーム内で課題を共有し話し合うなどの時間を確保した授業を行いました。
中学3年 小学6年	英語（スピーチ） 【交流授業】	峯重 透（中） 富宅 剛太（小）	小中学生がこれまで学習した英語を使って、スピーチや質問等を相互に行いました。
小学4年	理科（沸騰） 【協力授業】	高木 孝裕（中） 室園 奈央（小）	中学校の理科の教員が、専門的な知識や技能を生かして、小学生に理科の面白さを味わわせ、小学校教員のサポートを行いました。

今年度の研究のキーワードは「共に」です。当日の授業は小学生と中学生が同じ教室で授業を受ける「交流授業」と小学校の教員と中学校の教員が共に授業をつくる「協力授業」、生徒同士がコミュニケーションを図りながら技能の向上を目指す授業を公開させていただきました。



何事にも一生懸命取り組む3年生。小学生を前にして、いつも以上のパフォーマンスを見せてくれました。中学3年生はやっぱりすごかった！



自分たちがこれまで学習してきたことを思い出しながら一生懸命に小学生へアドバイス。先輩として緊張する時間でした。

白衣を着た中学校の理科の先生。それだけでも緊張？と思ったら・・・小学生の好奇心あふれる眼差しは、先生の動きを捕えて逃がしません。理科が好きになる子供が増え、将来ノーベル賞なんてこともあるかもしれません。



体育の授業は普段からコミュニケーションをとりながら互いに技能の向上を目指しています。



平成30年度、三原小・中学校だからこそできる小中一貫教育をスタートできるよう、これからも研究を続けます。

1年生道徳授業



1年生の道徳の時間に、校長先生による「インドネシアの子供たち」という授業が行われました。校長先生がインドネシアの日本人学校に勤務していた時のことを話していただきました。

インドネシア語での挨拶から始まり、民族衣装や宗教のことなど幅広いお話でした。実際に交流のあった子供たちのエピソードを聞き、日本の子供たちとの違いがあること、特に「学校に行かないのが当たり前だと思っている子供たちがいる」という話に、生徒たちは驚いた様子でした。授業後の感想には、「私たちの当たり前が当たり前ではないことに胸が苦しくなった」「子供なのにいろいろと工夫して生活しているのがすごいと思った」といったことが書かれていました。【1年担任：久保 淳】



学習発表会のお知らせ

3月5日（日）、本校体育館で学習発表会が開催されます。

舞台発表 9：00～12：00

各学年総合発表、文化部発表（サイエンス部、音楽部）、三原小学校合唱・合奏、小中合同発表、各学年合唱、全校合唱

展示発表 8：30～15：00

各学年総合学習（意見発表作文、Hachiclopedia、私たちが考えるノーマライゼーション、職場体験報告、修学旅行しおり・まとめ、社会問題等）、各教科、文化部（アート部、サイエンス部）

〈3月の主な行事予定〉

日	月	火	水	木	金	土
2/26	2/27 学年末考査	2/28	1日	2日 都立高校発表 避難訓練	3日 学習発表会 リハーサル 職員会議	4日 学習発表会前日 準備
5日 学習発表会 学校評価委員会	6日 振替休業日	7日 専門委員会	8日	9日 卒業遠足（3年） 復習確認テスト （1,2年）	10日	11日
12日	13日 朝礼 安全指導 三年生を送る会	14日 卒業式予行 職員会議 S.C勤務日	15日	16日 卒業式準備	17日 卒業式	18日
19日	20日 春分の日	21日 保護者会 （1,2年生）	22日 職員会議	23日	24日 大掃除 修了式 離任式	25日
26日	27日 春季休業日始	28日	29日	30日	31日	4/1

* S C勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。（学校7-0057）

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈町教育相談室(2-0591)

☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008) ☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)